

まえがき

中国語を使う機会は、もはや中国を訪れたときに限られるものではありません。日本国内でも、大学のキャンパスやアルバイト先、観光地、SNS など、さまざまな場面で中国語話者と出会い、ことばを交わす機会があります。そこで本書は、学習の舞台を中国に限定せず、日本にいながら中国語話者と出会い、伝え合い、関係を築いていくための中国語を身につけることを目指しました。中国語を単なる知識として学ぶのではなく、実際に「つたわる」「つながる」ためのことばとして習得してほしいと考えたのが、本書の出発点です。以下、本書の特徴について述べます。

- (1) 本書の最大の特徴は、イラストを豊富に取り入れ、場面や状況を視覚的に捉えながら中国語を学べる点にあります。ことばを文字だけで覚えるのではなく、イラストを手がかりに場面や意味を捉え、そこで使われる中国語と結びつけることで、表現の意味や使い方を直感的に理解できる構成としています。
- (2) 学習者が初期段階から中国語の音に触れることを重視し、第1課からリスニング問題を積極的に取り入れました。学習の初めから中国語を繰り返し聞き、声に出す練習を重ねることで、音に慣れるとともに、聞くことや話すことへの抵抗感を減らしていくことをねらいとしています。
- (3) 本書は、中国語の文法事項を網羅的に学び、文法知識を詳しく理解すること自体を目的とした教科書ではありません。そのため、文法の説明は、実際に中国語を使うために必要な内容に絞っています。一方で、学んだ表現を何度も声に出し、口頭練習を積み重ねることを重視しています。実際に中国語を使い、周りの人と伝え合う中で、中国語の仕組みも少しずつ身につけてほしいと考えています。また、学んだ表現をすぐに使えるよう、各課には、クラスの仲間と質問し合ったり、互いのことを伝え合ったりする活動を設けています。特に各課の「総合練習」では、自分自身について伝え、相手に質問し、その答えを聞き取って次のやりとりにつなげるなど、周りの人と関わりながら学ぶための仕掛けを数多く取り入れています。教室での活動を通して、中国語の練習だけでなく、身近な人の新たな一面を知り、人とのつながりを広げていくことも、本書の大切なねらいです。
- (4) 本書では各課の冒頭に「目標」を示しています。それは、「この課では何を覚えるのか」ではなく、「この課を学んだら、中国語で何ができるようになるのか」を意識してもらうためです。一つひとつの「できること」を積み重ねながら、自分自身の成長を実感してもらいたいと考えています。
- (5) 各課にはコラムを設けています。日本語と中国語におけるコミュニケーションの違いや、その背景にある文化・考え方などにも目を向けることで、中国や中国語への興味をさらに広げてもらえればと思います。

本書での学びを通じて、中国語が「つたわる」喜び、そして人と「つながる」楽しさを実感していただくことが、私たちの何よりの願いです。最後になりましたが、本書の企画、執筆、編集にあたり、金星堂の川井義大氏には多大なご協力をいただきました。心より御礼申し上げます。

2026 年夏
著者一同

著 者

望月雄介（松山大学）
路 浩宇（九州国際大学）
勝川裕子（名古屋大学）

表紙デザイン

（株）欧友社

イラスト

川野郁代



音声ファイル無料ダウンロード



<http://www.kinsei-do.co.jp/download/0752>

この教科書で  DL 00 の表示がある箇所の音声は、上記 URL または QR コードにて無料でダウンロードできます。自習用音声としてご活用ください。

- ▶ PC からのダウンロードをお勧めします。スマートフォンなどでダウンロードされる場合は、ダウンロード前に「解凍アプリ」をインストールしてください。
- ▶ URL は、検索ボックスではなくアドレスバー（URL 表示欄）に入力してください。
- ▶ お使いのネットワーク環境によっては、ダウンロードできない場合があります。



左記の表示がある箇所の音声は、教室用 CD に収録されています。

目 次

発音編 10

課	テーマ	到達目標	文法項目	
1	自己紹介	☐ 職業（学生、会社員など）について伝え合うことができる。 ☐ 所属する学部を伝え合うことができる。	“是” 構文 連体修飾の表し方	22
2	中華料理店にて	☐ 行動について伝え合うことができる。 ☐ 何をするかについて伝え合うことができる。	動詞述語文 疑問詞疑問文 “呢” 省略疑問文	28
3	食堂にて	☐ 人や物事の性質や状態について伝え合うことができる。 ☐ 人や物事について尋ね、感想や評価を伝え合うことができる。	形容詞述語文 量詞 疑問詞 “怎么样”	34
4	お出かけ	☐ 曜日や時刻など、時間に関する情報を伝え合うことができる。 ☐ 友人を誘ったり、誘いに応じたりすることができる。	名詞述語文 時刻の言い方 連動文	40
5	誕生日会の計画	☐ 身近な場所に存在する人やものについて伝え合うことができる。 ☐ 選択肢を示したり、選んだりすることができる。	存在表現 選択疑問文	46

課	テーマ	到達目標	文法項目	
6	旅行	☐ 自分の経験や行動について伝え合うことができる。 ☐ 自分の願望について伝え合うことができる。	アスペクト助詞“了”と“过” 助動詞“想”と“要”	52
7	Wechat	☐ 行為の対象や場所について伝え合うことができる。 ☐ 時間表現を使って、予定や行動について伝え合うことができる。	介詞 時間表現	58
8	中国の文化	☐ 過去の行為について、時間・場所・方法などを伝え合うことができる。 ☐ 移動の方向について伝え合うことができる。	“是……的”構文 方向補語	64
9	アルバイト	☐ 結果を伴う動作行為について伝え合うことができる。 ☐ できること／できないことについて伝え合うことができる。	結果補語 可能補語	70
10	大学生活	☐ 動作の様態やその程度について伝え合うことができる。 ☐ 特定の人やものに対する動作とその結果について伝え合うことができる。	様態補語 “把”構文	76

目標

職業（学生、会社員など）について伝え合いましょう。



DL 045

CD1-45

人称代詞は p.16 を参照

親族名称は p.18 を参照

A: 你 姐姐 是 **大学生** 吗?

Nǐ jiějie shì dàxuéshēng ma?

(あなたのお姉さんは大学生ですか。)

□ にはページ下部の
語句を入れて練習しま
しょう。



B: 是, 我 姐姐 是 **大学生**。 / 不是, 我 姐姐 不是 **大学生**。

Shì, wǒ jiějie shì dàxuéshēng. / Bú shì, wǒ jiějie bú shì dàxuéshēng.

(はい、私の姉は大学生です。 / いいえ、私の姉は大学生ではありません。)

DL 046

CD1-46



工程师
gōngchéngshī
エンジニア



导游
dǎoyóu
ガイド



老师
lǎoshī
教師



公务员
gōngwùyuán
公務員



公司 职员
gōngsī zhíyuán
会社員



医生
yīshēng
医者



初中生
chūzhōngshēng
中学生



高中生
gāozhōngshēng
高校生



目標

所属する学部を伝え合いましょう。



DL 047

CD1-47

A: 你是 **文学院** 的学生吗?

Nǐ shì wénxuéyuàn de xuésheng ma?

(あなたは文学部の学生ですか。)

□ にはページ下部の
語句を入れて練習しま
しょう。



B: 我是 **文学院** 的学生。 / 我不是 **文学院** 的学生。

Wǒ shì wénxuéyuàn de xuésheng. / Wǒ bú shì wénxuéyuàn de xuésheng.

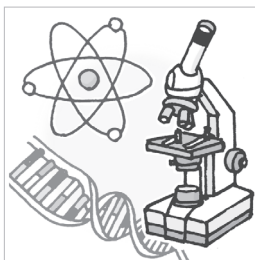
(私は文学部の学生です。 / 私は文学部の学生ではありません。)

DL 048

CD1-48



文学院
wénxuéyuàn
文学部



理学院
lǐxuéyuàn
理学部



法学院
fǎxuéyuàn
法学部



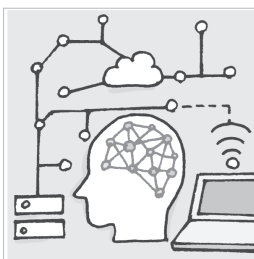
经济学院
jīngjìxuéyuàn
経済学部



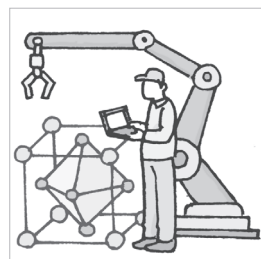
商学院
shāngxuéyuàn
商学部



外语学院
wàiyǔxuéyuàn
外国語学部



信息学院
xìnxīxuéyuàn
情報学部



工学院
gōngxuéyuàn
工学部

ポイント1

“是”構文 主語+“是”+目的語



【肯定文】主語+“是”+目的語。

我 是 日本人。
Wǒ shì Rìběnrén.

※日本人：日本人

【否定文】主語+“不是”+目的語。

她 不 是 公務員。
Tā bú shì gōngwùyuán.

【疑問文】主語+“是”+目的語+“吗”？

你 是 大学生 吗？
Nǐ shì dàxuéshēng ma?

▶▶▶ ドリル ①

日本語に合うように、() 内の語句を並べ替えましょう。

(1) 彼はエンジニアではありません。

(是 / 工程师 / 不 / 他)。
shì gōngchéngshī bú tā

(2) 彼女は医者ですか。

(医生 / 她 / 吗 / 是)？
yīshēng tā ma shì

▶▶▶ ドリル ②

CheckLink

次の対話を聞いて、質問の回答がイラストの内容と合っていれば○、間違っていれば×をつけましょう。

(1)



()

(2)



()

(3)



()

連体修飾の表し方 名詞+“的”+名詞



我的笔

wǒ de bǐ

※笔：ペン

佐藤 的 同学

Zuǒténg de tóngxué

佐藤：佐藤（苗字）

同学：クラスメート

金星 大学 的 学生

Jīnxīng Dàxué de xuésheng

金星大学：金星大学

大学：大学

◆人称代名詞が親族・人間関係・所属機関などを表す名詞を修飾する場合、“的”はしばしば省略されます。

我（的）爸爸

wǒ (de) bàba

他（的）朋友

tā (de) péngyou

你们（的）学校

nǐmen (de) xuéxiào

※朋友：友達

学校：学校

◆言語名や国名が後ろの名詞の種類・属性を表す場合、通常“的”を用いません。

英语 课本

Yīngyǔ kèběn

中国 老师

Zhōngguó lǎoshī

※英语：英語

课本：教科書

日本 留学生

Rìběn liúxuéshēng

中国：中国

日本：日本

留学生：留学生

▶▶▶ ドリル ①

日本語に合うように、（ ）内の語句を並べ替えましょう。

(1) 彼女の友だちは文学部の学生です。

(朋友 / 文学院 / 她 / 是 / 学生 / 的)。

péngyou

wénxuéyuàn

tā

shì

xuésheng

de

(2) 私は金星大学の学生ではありません。

(金星 大学 / 我 / 是 / 学生 / 的 / 不)。

Jīnxīng Dàxué

wǒ

shì

xuésheng

de

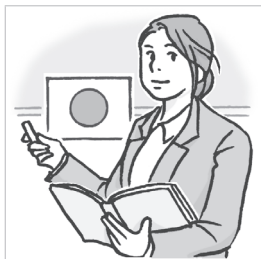
bú

▶▶▶ ドリル ②

CheckLink

次の対話を聞いて、質問の回答がイラストの内容と合っていれば○、間違っていれば×をつけましょう。

(1)



()

(2)



()

(3)



()

場面 佐藤さんが教室で中国人留学生の王さんに話しかけています。

佐藤：你好！你是中国人吗？
Nǐ hǎo! Nǐ shì Zhōngguó rén ma?

王：是，我是中国人。
Shì, wǒ shì Zhōngguó rén.

佐藤：你是留学生吗？
Nǐ shì liúxuéshēng ma?

王：我是留学生。你叫什么名字？
Wǒ shì liúxuéshēng. Nǐ jiào shénme míngzi?

佐藤：我叫佐藤真美。
Wǒ jiào Zuǒténg Zhēnměi.

王：我叫王小智。
Wǒ jiào Wáng Xiǎozhì.

佐藤：我是法学院的 学生。
Wǒ shì fǎxuéyuàn de xuésheng.

王：哦，我是经济学院的 学生。
Ò, wǒ shì jīngjìxuéyuàn de xuésheng.

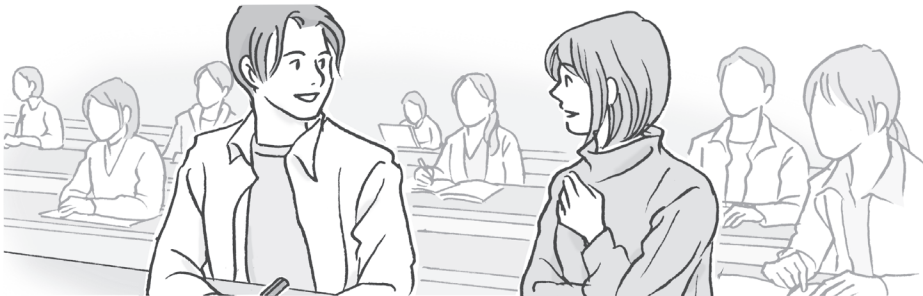
新出語句

中国人 Zhōngguó rén
中国人

叫 jiào
(名前を) ~と言う
什么 shénme どんな
名字 míngzi 名前
佐藤 真美
Zuǒténg Zhēnměi
佐藤 真美 (名前)

王 小智 Wáng Xiǎozhì
王 小智 (名前)

哦 ò おお (語気助詞)



コラム

初対面でそこまで聞く!?

初対面の場面では、中国と日本で挨拶や話題の選び方に違いがあります。日本では、丁寧さが重視され、プライベートな話題にはあまり踏み込みません。一方、中国では、相手との関係や世代によっては、“你多大了?”(何歳ですか?)や“你结婚了吗?”(結婚していますか?)など年齢や結婚といった比較的プライベートなことを知り合って間もない段階で話題にすることがあります。日本と中国では相手との距離を縮める方法が違いますね。



1

(1) 自己紹介に必要な自分の情報をそれぞれ書きましょう。

自分の情報	簡体字	ピンイン
名前		
職業		
所属		

(2) 上の表を参考に、空欄に適切な語句を入れて会話の準備をしましょう。

我 姓 (苗字) _____ , 叫 (名前) _____ 。
 Wǒ xìng _____ , jiào _____ .

我 是 (職業) _____ 。我 是 (大学名・学部名) _____ 的 学生。
 Wǒ shì _____ . Wǒ shì _____ de xuésheng.

2 次の音声を書き取り、質問に中国語で答えましょう。  DL 055  CD1-55

(1) 問： _____ 答： _____

(2) 問： _____ 答： _____

(3) 問： _____ 答： _____

3 周りの人に名前や職業・所属を質問し、聞き取った内容を下の表にまとめましょう。

名前	職業	学部
例) 川井 义大	大学生	文学院